第２５号

発行日：2018.4.1

株式会社ソーキ
北陸出張所

株式会社ソーキ
中部営業所

TEL:0120-856-994

ホームページ：
http://www.sooki.co.jp/

ハイライト：

- 安全管理？
- ソーキで取り扱っている安全管理商品

現場おやじの一言

現場おやじ　号泣！

息子２人と鹿児島にある『知覧特攻平和会館』に行ってきました。昔からどうしても行きたい場所で、やっと念願が叶いました。

知覧特攻平和会館は、第二次世界大戦末期の沖縄戦において特攻という人類史上類のない作戦で、爆装した飛行機もろとも敵艦に体当たり攻撃をした陸軍特別攻撃隊員の遺品や関係資料を展示しています。

私たちは、特攻隊員や各地の戦場で戦死された多くの特攻隊員のご遺徳を静かに回顧しながら、再び戦闘機に爆弾を装着し敵の艦船に体当たりをするという命の尊さ･尊厳を無視した戦法は絶対取ってはならない、また、このような悲劇を生み出す戦争も起こしてはならないという情念で、貴重な遺品や資料をご遺族の方々のご理解ご協力と、関係者の方々のご尽力によって展示しています。

特攻隊員達が二度と帰ることのない「必死」の出撃に臨んで念じたことは、再びこの国に平和と繁栄が甦ることであろうと思います。　（知覧特攻平和会館ホームページより）

会館の中には、特攻隊として出撃戦死した1,036名の顔写真と飛び立つ前に家族や愛する人へ送った遺書が並べてあり、その他に写真や遺書、遺品等約6,000点展示してあります。その遺書を見ながらあちらこちらですすり泣く声が聞こえていました。

現場おやじはすすり泣くどころか、号泣していましたけど。

また、当時の様子を知る『語り部』の方による“特攻の歴史背景と特攻隊員の遺書・手紙などの特色について”の解説もあり、すごく感動しました。

解説の中の言葉から

・一番若い特攻隊員は17歳（今でいう高校生）で、30歳代も数人いましたが、17～24歳までの若者ばかりだった。

・遺書は母親に向けた手紙がほとんどで、父親へ向けたものは少なく、手紙にはとにかく『感謝』の気持ちが書かれています。

・飛行機の燃料は、片道分

・『行って（帰って）きます。』ではなく、『行きます。』

・隊員たちの身の回りの面倒を見ていた知覧高等女学生は『なでしこ隊』と呼ばれ、手作りのマスコットを送って隊員の心の支えになっていた。

・鳥濱トメが営む『富屋食堂』は多くの特攻隊員が食事に来店し、トメはできる限り特攻隊員の面倒を見ようと思い、家財を処分してまで食材を仕入れ、隊員のどの注文にも応えようとし、いつしか『特攻の母』と呼ばれるようになった。

特攻隊に関連した映画には『永遠の０』（岡田准一主演）『ホタル』（高倉健主演）などが有ります。

毎年2万人以上の人が自殺しているこの日本で・・・『命の尊さ』をすごく感じました。鹿児島へ行かれる機会があれば、ぜひ。

第２５回目は、「安全管理」についてです。

今回は『安全管理』について説明していきます。「現場で必要な安全管理って何？」「安全管理で使用される商品？」などについて説明していきます。

安全管理？

工事現場でよく目にするのが、**『安全第一』**です。看板であったり、垂れ幕であったりします。

以前のニュースレターでも紹介しましたが、現場で大事なことは“工期（工事完成の〆切）を守る事”“工事費（工事にかかる費用）から利益を上げる事”“施主（工事を発注する人）からの信頼を得る事”などいろいろありますが、最も大事なことは**『無事故で工事を終える事』**です。

労働災害（仕事している時に発生した事故）による死亡者は全産業で年間約1,000人になります。そのうち建設業は約40%と最も多く、次いで製造業、運送業になります。

昔は「トンネルを100m掘れば1人が亡くなる」などと言われ、青函トンネル（青森県）現場では34名の坑夫が亡くなり、黒部ダム（富山県）現場では171人の方が亡くなっています。現在は、機械化が進み、安全設備が進歩し、安全規則の改定、安全パトロール、安全意識の向上により現場での労働災害は激減してきています。

事故を起こしてしまうと、警察の現場検証があり、事情聴取、緊急安全パトロール、事故反省会、再発防止対策会議などが実施され、場合によってはある一定期間現場作業がストップされることもあります。当然、工事竣工時の検査の点数も下げられます。

私も事故は経験しましたが、事故が発生すると、当然現場の雰囲気は暗くなり、いくら工事が工期通り終わり、利益が上がっても、もう終わっています。**何より仲間が犠牲になったことが一番ショックです。**

○安全管理

なぜ事故が起きるのか？

大きく２つの要因があると思われます。

①ヒューマンエラー（人的要因によるミス）

人間がいくら注意していても、ミスをします。ヒューマンエラーは、人間の不注意によるものと、意図して故意に不適切な行動をとったために発生するものが有ります。前者は“ボーとしていたとか”“よそ見をしていたとか”で、後者は“安全通路を渡らず、近道をした”とか“安全帯を使わず作業して、転落した”とかになります。ヒューマンエラーの防止について、よく労働災害に関する調査・分析に用いられるのが、**『ハインリッヒの法則』**です。

【ハインリッヒの法則】：重大な事故が1件発生するまでの間に、軽微な事故が29件発生し、“ヒヤリ”“ハッと”（ヒヤリハット）するような小さな事故が300件起きているという経験則に基づいた教訓です。

②安全設備の不備による要因

ヒヤリハットに関する事例が多発すれば、事故の予兆として考えることができますが、**ヒューマンエラーを０（ゼロ）にすることは不可能**だと考えます。事故が起こる原因のもう一つは**『安全設備の不備』**によるものです。“作業するための足場が無かったり”“作業場所へ行く安全通路が無かったり”“危険作業が起きないような現場ルールが無かったり”ヒューマンエラーを０にすることは難しいですが、このような安全設備を充実させることによって、事故発生の確率をかなり下げることが出来ます。事故が発生したとしても、軽減することができます。

事故が起きない安全な設備を考えたり、設置したりすることが**安全管理**になります。

ソーキで取り扱っている安全管理商品

『ソーキの安全管理商品』

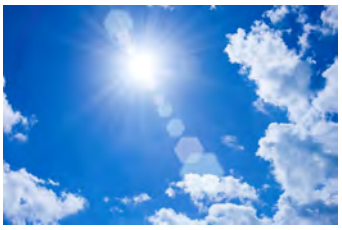
有害ガス検知器（事前に有害ガスを有無を調査）や警報付デジタル風速計（風速を表示し、クレーン作業の安全性を知らせる）などもある意味『安全管理に使用される商品』になります。

その他、ソーキが取り扱っている安全管理商品は『SOOKI 計測機器レンタル総合カタログVol.7』の【11 通信・安全管理商品】に記載されています。

安全管理商品

【熱中症対策】

夏に向けて、取り扱われる商品になってきます。



熱中症・・・運動や暑熱から起こる体の障害の総称で、熱射病(ネッシャビョウ)や日射病(ニッシャビョウ)と呼ばれるものは、重症の熱中症のことです。

暑熱環境下において身体適応障害によっておこり、脱水による体温上昇、臓器不全になり“めまい”“頭痛”“吐き気”の症状が発生し、死亡に至る事もあります。屋外だけでなく、室内でも発症するケースがあり、“老人が室内でクーラーもつけず我慢して亡くなるニュース”を近年目にします。

【WBGT】:湿球黒球温度の略称で、人体の熱収支に影響の大きい気温、湿度などから計算された指標になります。よく現場などでも使われる指標です。

熱中症対策、WBGTを表示する計測器が以下の商品になります。

WBGT	警戒レベル	注意事項
≧ 31.0℃	危険	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
28.0 – 30.9℃	厳重警戒	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
25.0 – 27.9℃	警戒	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
≦ 24.9℃	注意	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

- 熱中症指標計　WBGT-113/213B（メーカー:京都電子工業)(カタログP.11-09)
- 熱中症指標表示計　HSP-200（メーカー:ソーテック）(P.11-09)
- 体感温熱環境測定　ポータブルPMV計AM101（メーカー:京都電子工業）(P.11-09)

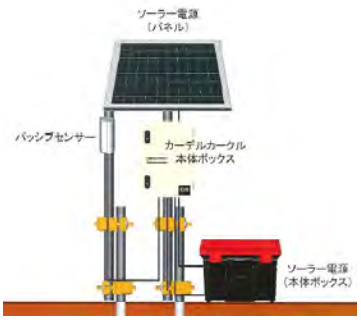
※PMV:平均予測温冷感申告の略称で、暑い/寒いといった温熱環境に対する感覚を数値化した温熱的快適性の指標です。

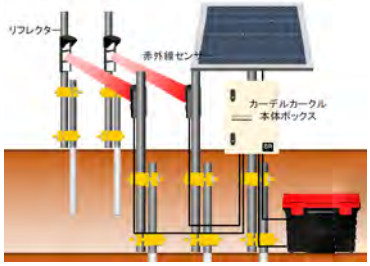
【速度監視警報】

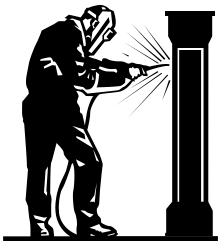
工事構内および、出入口などでの車両事故の防止のための商品です。工事現場内での制限速度は10km/h～20km/hぐらいで、かなり低速度です。

速度警報を促す商品が、以下の商品になります。

- 携帯型速度測定器　スピードスターV（メーカー:阪神交易）(P.11-10)
- 速度監視警報機　SRDL-3PS-A2/B2（メーカー:ダイナテック）(P.11-10)
- 速度監視警報機　SRDL-3PS-B2用LED表示機SRDL-4B（メーカー:ダイナテック）(P.11-10)







株式会社ソーキ
中部営業所・北陸出張所
今岡

現場に関するご質問などがあれば、メール下さい。
E-mail:
imaoka@sooki.co.jp

【車両出入口】

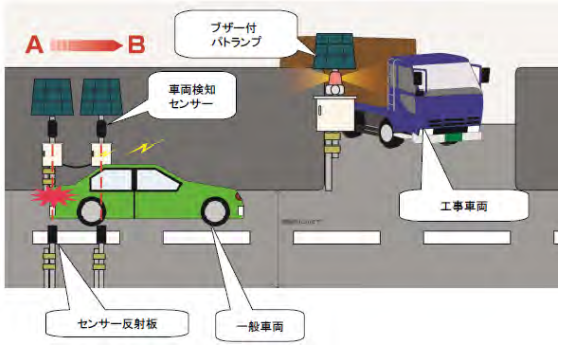
工事車両関係の安全管理商品には他にも、ニュースレター第23号（「特機商品」（その2））で紹介したレーザーを使った商品も有ります。

・カーデル（メーカー：エコモット） NETIS: HK-110022-VE（カタログ未掲載）

工事車両出入口付近の一般車両や通行人に対して、現場から工事車両が出てくることを知らせるシステムです。

・カークル（メーカー：エコモット） NETIS:HK-110022-VE（カタログ未掲載）

一般車両が工事現場出入口に近づいていることを工事車両運転手に知らせるシステムです。



【斜面崩壊】

・斜面崩壊センサシステム（メーカー：リプロ） NETIS:CB-100038-VE（カタログ未掲載）

・簡易斜面変位監視システム （メーカー：リプロ） NETIS:KT-100012-VE（カタログ未掲載）

地すべりや土石流などの危険性のある斜面や法面が動いたこと（傾き）を検知し、メールや警報装置で危険を知らせるシステムです。

では、また

今回、『安全管理商品』について語っていきました。

次回はも引き続き『 安全管理商品 』第二弾について語ります。 “安全管理で使用される商品？” などについて説明していきます。

入学式、入社式の季節、春爛漫！

次回は５月上旬を予定しています。